

環境活動レポート

＜エコアクション21＞

《第41期》

【2009.10.01～2010.09.30】

2010年10月01日
中島精工株式会社

1 環境方針

《基本理念》

中島精工株式会社の全社員は、環境問題が人類共通の最重要課題であるとの認識のもと、地球環境と地域社会との共生を目指し、環境保全に配慮した事業活動を行ないます。

《基本方針》

- (1) 当社は、各種リードフレームの生産・販売をしております。すべての活動において環境保全に努め「地球に優しい企業」を目指します。
- (2) 全社員が環境に与える影響を的確に把握し、環境保全と汚染予防の活動を継続的に実施します。
- (3) 環境関連の法律、規制、条例及び当社が受け入れを決めた基準を遵守します。
- (4) エネルギー・廃棄物等を削減し、また、分別を徹底することによる再資源化を推進します。
- (5) この環境方針を全社員に周知すると共に、一般に公開します。

改定 2010年10月1日

2004年6月1日策定

代表取締役社長 稲玉 和平

2. 会社概要

名 称	中島精工株式会社
代表者名	代表取締役社長 稲玉 和平
設 立	昭和44年10月
資本金	1,000万円
売上高	35,360万円(第41期(2009.10~2010.09)実績)
所在地	〒387-0001 長野県千曲市大字雨宮926-1 TEL:026-272-2148 FAX:026-272-2564
従業員数	21名
事業内容	TN液晶表示(LCD)用リードフレームを中心とした、精密電子部品の技術開発から量産まで一貫して手がけています。特に高い信頼性が要求される車載用LCDのリードフレーム分野では、国内トップクラスのシェアを誇ります。 また、当社独自の製造装置は優れた生産技術との融合により、無人運転を実現しています。
営業品目	LCD用リードフレーム、HIC用リードフレーム
環境管理責任者	代表取締役専務 中島 高広

事業規模

	第37期	第38期	第39期	第40期	第41期
売上額	54,300万円	49,100万円	45,800万円	30,050万円	35,360万円
従業員数	23人	23人	24人	21人	21人
延べ床面積	1,038㎡	1,038㎡	1,783㎡	1,783㎡	1,783㎡

3. 環境目標とその実績

(1) 中長期及び第42期目標(対41期比)

管理項目	第41期実績	第42期目標	第43期目標
電力使用量(kw)	256,353	253,789	251,225
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	96,901.43	95,932.41	94,963.4
削減率(%)	—	1.0	2.0
灯油使用量(ℓ)	1,195	1,183	1,171
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	2,977.86	2,948.08	2,918.30
削減率(%)	—	1.0	2.0
廃棄物(可燃ごみ)排出量(kg)	829.5	821.2	812.9
削減率(%)	—	1.0	2.0
水道使用量(m ³)	194	192	190
削減率(%)	—	1.0	2.0

(2) 第41期環境目標とその実績(対39期比)

管理項目	第39期実績	第41期目標	第41期実績
電力使用量(kw)	259,424	256,830	256,353
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	98,062.27	97,081.74	96,901.43
削減率(%)	—	-1.0	-1.2
灯油使用量(ℓ)	1,333	1,320	1,195
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)	3,321.74	3,289.35	2,977.86
削減率(%)	—	-1.0	-10.4
廃棄物(可燃ごみ)排出量(kg)	1,274	1,261	829.5
削減率(%)	—	-1.0	-34.9
水道使用量(m ³)	229	226.7	194
削減率(%)	—	-1.0	-15.3

※当初対40期比でスタートしたが、40期は休業日が多く比較対象外とし、1月に39期比(1%ダウン)で見直しをした。

4. 環境活動計画の内容

(1) 電力消費量の削減

1. 昼休みの照明は、必要最小限にする
2. エアコン使用時間・温度管理の徹底
3. 定期的なエアコンのフィルター清掃(冷暖房効率アップ)
4. 電気ストーブの使用頻度削減

(2) 灯油使用量の削減

5. 石油ストーブの温度管理の徹底

(3) 廃棄物排出量の削減

6. 社内文書の電子化(印刷物削減)
7. ゴミの分別の徹底(リサイクル促進)
8. 個人で持ち込んだゴミの持ち帰りの徹底
9. 副資材のリサイクル化の促進

(4) 水道使用量の削減

10. 手洗い中の止水の徹底

(5) その他

11. ウォームビズの促進
- 12.

5. 環境活動の取組結果の評価

(1) 電力使用量

第41期は、使用していないプレス機の上の照明を消す、無駄な電気は使わない等社員のEA21活動に対する取組姿勢を見ることができた。猛暑の影響でエアコンの使用は増えたが、目標をクリアすることができた。

(2) 灯油使用量

灯油使用量は購入量でみている為、残量を確認しながら注文をすることにより、目標値をクリアする事ができた。

(3) 廃棄物(可燃ごみ)排出量

地域の資源回収にも協力し、今後も削減に向けて努力して行きたい。個人で持ち込んだゴミは持ち帰る等の取組の結果、目標値クリアである。

(4) 水道使用量

電力使用量同様、稼動が少ない結果の目標値クリアである。
第41期は稼動が増えても削減に向けて努力して行きたい。

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社が遵守する環境関連法規の遵守状況について、環境管理責任者の中島高広が中心となりチェックを行い、現在及び過去3年間問題のないことを確認しました。また、関係機関からの指摘や周辺住民からの苦情等はなく、訴訟等もありませんでした。

以上